

ワークショップ「新興証券市場と中小企業金融」

中小企業向け金融商品と金融機関

- 大阪市内の中小企業向けアンケートの結果から -

清田 匡（大阪市立大学）

報告者は、2005年3月に、大阪商工会議所のご協力により、大阪市内の中小企業3000社を対象に、中小企業金融に関するアンケートを行った(有効回答数497)。

アンケートの主な目的は、ユーザーの側から見た民間金融機関や政府系金融機関の対応や、それぞれの商品に対する判断を調査し、現状の問題点や今後のあり方を検討するための基礎とすることにあつた。同種のアンケートや調査は、すでにあるが、しばしば、当局や、金融機関自身、つまり、調査の結果について利害関係を持つ主体によって実施されたものであり、客観的な立場から、金融機関や商品についてのユーザーの忌憚のない意見を調べたいというのが主旨である。

本報告では、このアンケートの結果について述べるとともに、ハンブルク大学の北ドイツ地域の中小企業についての同種のアンケート調査の結果、また、本アンケートと同時期に行われた大阪府立産業開発研究所や、近畿財務局のアンケート調査の結果との比較も予定している。

なお本アンケートの調査票や主旨の詳細については、報告者が作成している「中小企業金融ポータル」(<http://www2.bus.osaka-cu.ac.jp/~kiyota/mfwiki/pukiwiki.php>)で公表している。アンケートの結果についても、本サイトで公表する予定である。